

4 健康でお過ごしください

12 沼田町老人クラブ連合会総会

令和3年度の沼田町老人クラブ連合会（松野茂雄会長）の総会が、ふれあいで行われました。

松野会長は挨拶で「昨年はコロナの影響で、いろいろ制限があったが、そんな中でも昨年は連合会創立50周年記念式典を開催でき、自分としても貴重な経験をさせて頂きました」と述べられました。

また横山町長からは「今年度の介護保険料は、皆さんのような健康な高齢者が多いお蔭で、本町は増額せず維持できました。」と話されました。

また役員改選で新会長に菅沼 繁氏（市内5）が選出されました。



4 きれいにしていただきありがとうございます

16 日本緑化中村株式会社がボランティア

4月16日（金）雪が解けて露わになった歩道や道路脇の土砂清掃ボランティアを、日本緑化中村株式会社（中村剛代表取締役）の社員の方々に行って頂きました。

ボランティア清掃は、役場南側の町道など約500mを社員の方々10名が雨水枡や道路の縁に堆積した土砂やヘドロを、スコップや柄杓を使って手際よく集めた後、洗浄機で洗い流して頂きました。



現場責任者の渡辺禎常務取締役は、「道路清掃は今年で2回目ですが、今後も道路清掃に限らず、会社として色々と地域貢献をさせて頂く考えです」と話されていました。

4 健康を考えよう

24 健康と生活とおいしさ再発見

4月24日（土）暮らしの安心センターで、健康を応援するイベント「健康とおいしさ再発見」を開催し、午前・午後の部合わせて122名の方々が来場されました。

この事業は、沼田町と総合化学メーカーの株式会社力ネカ（菅原公一代表取締役会長）との間で地方創生包括連携協定が結ばれ、沼田町の特色ある資源と力ネカの取り組みを活用しながら、互いの発展と活性化に繋げたいというものです。

会場内では、コエンザイムQ10と乳酸菌サプリのモニター募集説明や一人でも出来る認知症やストレスチェックのブースが設けられ、来場した方々が熱心に説明を聞いていました。



4/

産学官連携で ICT を活用

27 健康づくり・見守り支援事業実施報告会

4月27日（火）暮らしの安心センターで、産学官連携によるICTを活用した健康づくり・見守り支援事業実施報告会が開催されました。

この事業は、沼田町と包括連携協定している、奈良県立医科大学MBT（医療を基礎とするまちづくり研究所）とMBTリンク株式会社の3者の事業で、町内に住む30名の方々にモニターとして依頼し、約4ヶ月間ICT機器を活用頂き、身体データや自宅の環境データを計測するとともに、離れた御家族にも、そのデータがリアルタイムで見ることが出来るという事業です。

今回中心となった、奈良県立医科大学の梅田智弘教授から、「皆さんから多くのデータを頂くことが出来ました。いただいたデータ結果を、様々な用途での活用を検討していきます」と話されました。



4/

付加価値が高まります

28 雪の冷気で花貯蔵

4月28日（水）和風園にある貯雪庫に、農家で育てられたブライダルなどで人気の「スノーボール」というアジサイに似た花を貯蔵しました。

ここに貯蔵される約1万本は、雪の冷気で花が開くことを抑制し、出荷時期の調整をして「雪中スノーボール」として出荷されます。花を貯蔵した生産者の生田ユカリさん（北竜3）は「花を少しでも長い間、皆さんに届けようと努力しています」と話していました。



4/

スポーツシーズン幕開け

29 町民パークゴルフ場オープン

4月29日（祝・木）町民パークゴルフ場がオープンしました。

晴天に恵まれ、パークゴルフ協会会員や町外からも愛好者の方々が来場しオープニングセレモニーが行われ、横山町長と町パークゴルフ協会中村進会長代行が共に始球式を行い華やかな幕開けとなりました。

中村会長代行は「昨年はコロナの影響で、練習や大会も出来ない日があったが、今年はもっと多くの大会が開催され、会員の交流と健康維持に繋がってほしい。」と話していました。

また、この日パークゴルフ場は1日無料開放され、来場された方々へ沼田ライオンズクラブからトマトジュースの提供がありました。



4 / 化石の話がとにかく奥が深くておもしろい 29 化石体験館オープン

ほろしん温泉ほたる館向かいにある「沼田町化石体験館」が、4月29日（祝・木）本年度の営業を開始しました。

この日はオープン記念として、4月着任した長野あかね学芸員から「わたしと沼田と二枚貝」と題した講演が行われ、自身が研究を進めている化石の話や沼田町で多く採取されているタカハシホタテについてわかりやすく説明されました。

化石体験館は、11月3日（祝・水）まで開館する予定です。



4 / 安心安全のためよろしくお願いします 30 沼田町防犯協会沼田支部総会

町民が安心安全に暮らせるよう活動している沼田町防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）の第61回定期総会が、4月30日（金）町民会館で行われました。

冒頭石田支部長から「令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の関係であまり活動が出来なかつたが、その中でも夜高パトロール隊を中心とした活動で、子供たちの安心安全が守られたと思う。今年度も引き続き町民のために活動していきたい」と挨拶があり、総会では出された議案すべてが承認されました。



5 / 毎朝健康のためにいかがですか 1 おはようラジオ体操はじめました

5月1日（土）午前6時30分より、今年度の「おはようラジオ体操」がスタートしました。

雨が降り出しそうな天気でしたが、約50名の方々が役場前に集い、体操の音楽にあわせて元気よく体を動かしていました。

また、今年から記録カードの他、参加者にはNumaCaの行政ポイントが付与され、会場に集まった方々は、随時受付でカードにポイントを受け取っていました。

おはようラジオ体操は、10月3日（日）まで行われる予定です。



5/9 きれいな「まち」のために

クリーン沼田空き缶拾い

クリーン沼田空き缶回収一斉運動が5月9日（日）行われました。ふれあい玄関前には約230名の方々が集まり、5つのコースに分かれて作業を開始しました。

今年は、新型コロナウィルスの感染を避けるため、バスに乗車して各地域に分かれて集めることをやめ、会場から徒歩で市街地を中心に回収作業を行ない、作業を終えた参加者には、今年度から始まったNumaCaの行政ポイントが付与されました。

また、この日は「ふれあい」会場以外にも町内各5地区において、約80名の方々が清掃作業を行いました。



5/14 力を合わせて乗り切ろう 商工会通常総会



5月14日（金）まちなかほっとタウンで、第61回沼田町商工会（吉住淳男会長）通常総会が開催されました。

吉住会長から、「昨年はコロナに翻弄され、商工会としては、非常に厳しい年だった。今年も状況に変わりはないが、今こういう時だからこそ会員相互の力を合わせ、乗り越えていきたい」と挨拶がありました。

総会は、提出された議案が承認され、長年に亘り町商工会理事として商工会活動に多大な貢献をされたとして、北海道空知管内商工会連合会会長表彰が山田昌希さん（味処やまだ）に贈られることの紹介がありました。

5/16 旧車が懐かしい

北海道オールドカーミーティング in ほたる館

生産から20年程度経過した車が集まったイベント「第1回北海道オールドカーミーティングinほたる館」が、5月16日（日）行われました。

あいにくの雨模様で参加台数は20数台と少なめでしたが、トヨタ初代チェイサー・フェアレディZ、マツダのルーチェなどが集まり、会場に訪れた見学者は懐かしい車に若かりし頃を思い出していました。

イベントを主催した水口直人さん（栗山町在住）は「今日は天気が悪く、旧車には不向きで台数が少なかったが、自分が主催できるこのようなイベントで地域を元気にしたい」と次回開催に向け構想を練っていました。



5 子どもたちのために町民が！

23 小・中学校グラウンド美化一斉運動

29日（土）開催される沼田学園の運動会を、子どもたちが気持ちよく迎えてもらうために5月23日（日）町民ボランティア約100名が集まりグラウンドの雑草取りを行いました。

これはコミュニティスクールとして地域に開かれた学校づくりのために沼田学園学校運営協議会（岡本佳彦会長）と教育委員会の主催により行われたもので、岡本会長は「子どもたちのために、町民の想いが詰まった事業だと思います」と挨拶があり、参加した町民は小学校と中学校のグラウンドを6チームに分かれて作業が行われました。



5 おいしく育ってね！

25 小学5年生が田植え体験

沼田小学校（中川浩之校長）5年生（14名）の田植え農業体験学習が5月25日（火）に行なわれ、みんなで「ななつぼし」の田植え体験をしました。

中部農事組合の前川智基さんの圃場をお借りし、児童達は横一列に並び、手に苗を握りながら恐る恐る田んぼに入り、慣れない手つきで1株ずつ苗を植えて行きました。

今後、秋に稻刈りを体験し、刈り取った稻を精米して、子ども達みんなで食べる予定となっています。



タスマン(株)が新工場建設工事に着手

プラスチックボトル製造販売企業で本町工業団地に進出を予定しているタスマン株式会社（多田宏代表取締役）が、5月14日（金）旧柔剣道場を改修し新工場建設の工事に着手しました。

新工場は9月中旬に完成する予定で、プラスチックボトル月約3万個を製造し、道内の各主要企業に販売していく予定です。

着工にあたって多田社長は「容器・液体・ラベル印刷まで独自製造できる、今まで北海道には無かった工場となる。

是非、沼田から我が工場が、道内のビジネスモデルの1つとして発信して行きたい」と述べられました。

なお、既に購入している沼田工業団地は、令和5年からの操業に向けて準備を進めています。



感謝

今までお世話になりました

大堀信義さんへ感謝状贈呈

長年に渡り沼田町身体障がい者福祉協会会長並びに相談員を勤めて頂きました、大堀信義さん（共成）に、横山町長から感謝状が贈呈されました。

大堀さんは、身体障がい者相談員を平成5年4月から27年間、沼田町身体障がい者協会会長を平成27年4月から6年に亘り務められました。

大堀さんは「今まで、難病の会やNPOの皆さんに、たいへんお世話になりました。本当にありがとうございます」と話されました。



感謝

元気に育ってね

園児と新入学児童にプレゼント

沼田町商工会女性部（三浦実希部長：会員60名）の方々が認定こども園を訪れ、たんぽぽ組（22名）の子ども達に色鉛筆をプレゼントされました。

子ども達は、商工会女性部の皆さんから1人ひとり色鉛筆を受け取り「みんなでお絵かきがたくさん出来る」と、とても喜んでいました。

また、役場主婦の会（横山美紀子会長）が、小学1年生の安全を祈願して「カエルのマスクコット」18個と除菌シート100枚をプレゼントしました。

このプレゼントは、役場主婦の会が地域貢献活動の一環として長年行っているもので、横山会長は「子供たちが安全で、いつでも笑顔で帰れるように願いを込めて作りました」と中川浩之校長に手渡されました。



感謝

役場の1階に展示しています

沼田郵便局から切手シート寄贈

沼田郵便局の富田茂将局長から横山町長へ、切手シートの寄贈を受けました。

これは、今年が郵便創業150年に当たることから、毎年4月20日の日本郵政記念日に発行された「切手趣味週間」の記念切手シートがフレームに入ったものです。

富田局長は、「今まで郵便局は、地域と共に密接な関係を築いてきました。今後も、皆さんからご意見、ご要望を頂き、より身近な関係を築いていきたいと思います。」と話されていました。



表彰

長年の功績を称えて

沼田町功労者表彰式・開拓記念式

4月25日（日）ふれあいで令和3年度功労者表彰式が執り行われ、沼田町ホタル研究会の設立に携わり、平成8年からは会長を務められ、観光産業の発展に大きく貢献されました野道夫さん（市内4）に「特別功労賞」、また、沼田町商工会副会長を25年務め、深川地区食品衛生協会副会長や沼田町交通安全協会会長など公職を歴任された小泉清彦さん（市内3）に「沼田町産業功労賞」及び「沼田町社会功労賞」が贈られました。

授賞式で野さんは「色々な方にお世話になって今まで続けることが出来た。心から感謝したい」と述べ、小泉さんは「沼田の駅から沼田町は広がっていった。今まで沼田町に育てられ現在の自分がいる。感謝したい」と謝辞を述べられました。

表彰式終了後、役場前庭にある開拓記念碑前で開拓記念式が執り行われました。新型コロナウイルス感染予防のため少人数での開催でしたが、参列者は先人の苦労を偲び町の更なる発展を祈願しました。



鵜野春男さんに瑞宝単光章を伝達



元沼田消防団副団長の鵜野春男さん（沼田1）に横山町長から瑞宝単光章が伝達されました。

鵜野さんは、昭和27年から沼田町消防団員として約37年間の永きに亘り、地域に貢献され、昭和62年から3年間は副団長を務められました。

伝達式で鵜野さんは「当時のことを思い出すと、町民の方にお世話になって活動していたんだなと思う。今後も出来ることがあれば消防行政に協力をしたい」と述べられました。